

## 要請番号 (JL11523B10)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ミクロネシア	I102 障害児・者支援		個別	交替 2代目	2年	・2024/2・2024/3・ 2025/1

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

チューク州政府教育局

## 2) 配属機関名 (日本語)

アコイコイ小学校  
NGO

## 3) 任地 (チューク州ペニア) JICA事務所の所在地 (ポンペイ州コロニア)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+車で 約 2.0 時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

幼児部(4~5歳)と小学校部(日本の小学校1年生~中学2年生)の児童生徒を対象に無償で教育を提供している。チューク州教育局から認可を受けたNPO法人で、チューク州の教育カリキュラムに沿った授業を実施している。全校生徒135名程度。コロナ禍前は国内外のボランティアを含め7名の教員がいたが現在は4名に減少し、校長の家族が授業を行っている。学校があるペニア地区の一人当たりの平均所得は1日1ドルを下回る貧困地区であり、教育水準、就職率ともに低く、教育強化による青少年の健全な育成を目指している。特に英語教育に力を入れているため、ミクロネシア地域随一の進学校(ザビエル高校)への入学者も数名輩出している。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

当校には、50名程度の特別支援教育が必要な児童生徒がいる。症状は、自閉症スペクトラム障害、難読症、弱視、難聴、注意欠陥障害など多岐にわたっている。自閉症以外の児童生徒については、医師による診断の機会がないので、現地の教員が子供たちとの関わりの中で判断している。特別支援教育の専門知識を持つ教員がいないため、隊員には児童生徒への指導と共に、現地教員に対する彼らとの関わり方の指導も求められている。学校では、インクルーシブ教育を取り入れているため、隊員はその中での活動がメインとなるが、特別支援クラスが必要と判断されれば、教室を別に設ける準備もある。特別支援教育が必要な生徒数が2倍以上に増えているにも関わらず、教員は減少したため支援が必要な状況になっている。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 特別支援が必要な児童生徒約50名の授業中のサポートを行う。  
(1クラス15名程度のクラス規模に4~5名の特別支援が必要と思われる児童生徒が含まれている)
- 同僚教員と保護者へ対し、特別支援が必要な子供たちへの理解、接し方の方法をアドバイスする。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

PC、プリンター、プロジェクター、iPad、Kindle、教科書

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:  
校長: 30代 女性 経験10年 ソーシャルワーカー (学校設立者の娘)  
教員:

学校設立者の60代の男性(校長の父親、米国人)  
校長の30代の弟、30代の従兄弟

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

英語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

## 【資格条件等】

[免許/資格等]: (特別支援学校教諭)  
(小学校教諭)

[学歴]: ( ) 備考:

[性別]: (男性) 備考: 女性を対象とした住居等確保が困難

[経験]: (実務経験) 2年以上 備考: 指導的な立場になるため

[汎用経験]:

- ・ 障害者を対象とした活動経験
- ・ 特別支援学級での活動経験

### 任地での乗物利用の必要性

不要

## 【地域概況】

[気候]: (熱帯雨林気候) 気温: (25~32℃位)

[電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可)

[水源]: (安定)

## 【特記事項】

ホームステイ(現地の一般家庭で寝食を共にしながら共同生活する)の可能性がある。現地語(チューク語)の研修を実施予定。

## 【類似職種】

- ・ 小学校教育

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。